

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

優れた生産活動を通じて地域社会の秩序を守り、社会と産業界の進歩と発展に貢献することにより、ステークホルダーの期待に応え続ける企業を目指す。

連結売上高
500億円

連結営業利益
75億円

連結営業利益率
15%

戦略・事業投資
300億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 半導体事業の拡大

最先端半導体材料の開発を加速。周辺材料への展開により事業拡大。

3. 重点領域の拡充

有機圧電材料や伸縮性エラストマー材料について、他機関・メーカーとの連携と新規市場投入。

2. 既存技術の新用途展開

LCD用レジスト設計技術を非ディスプレイ用途へ。親水性ポリマー技術を生体適合材料や電子材料用途へ展開。

4. 環境対応材料の開発

バイオマスアクリレート開発、非化石原料由来アクリル酸開発。完全非化石由来材料への挑戦。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・ 中国を中心とした海外景気減速の可能性
- ・ 燃料・原材料価格の高騰による物価高
- ・ 地政学的リスク（ウクライナ・中東）と日中対立の長期化

② サステナビリティ対応

- ・ カーボンニュートラルに向けた施策実行
- ・ 廃棄物削減と資源再利用によるサーキュラーエコノミー実現
- ・ LCAなど環境データ開示による環境社会への貢献

③ 組織基盤の強化

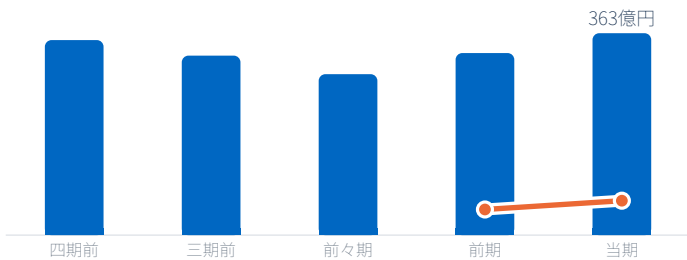
- ・ IT・DX推進による品質向上と生産性向上
- ・ 人的資本経営と雇用の多様化
- ・ コンプライアンス徹底・サプライチェーン強靱化・BCP強化

面接で使えるポイント

- ・ P&D 2030で2030年度売上高500億円以上を目指し、半導体材料開発を加速させている企業の成長戦略。
- ・ バイオマスアクリレートなど完全非化石由来材料への挑戦を通じた環境社会への貢献姿勢。
- ・ 中国・韓国・北米への販売会社設置など、海外展開とIT・DX推進による次世代化学企業への転換。

証券コード 4187

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
363億円営業利益率
17.1%財務健康度
84点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 64.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
858万円

化学内 26位/204社

平均年齢
41.3歳

化学内 126位/204社

平均勤続
17.4年

化学内 50位/204社

女性管理職
5.7%

化学内 99位/173社

男性育休
100.0%

化学内 17位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

